

あふむ小町

観世流謡曲 元和卯月本

12-001

12 あふむ小町

国立国会図書館



あふむ小町
と承りしりやけ事よそし
楓はと^甲はくを楓と^乙し
ま^丙と^丁と^戊と^己と^庚と^辛と^壬と^癸と
と^甲と^乙と^丙と^丁と^戊と^己と^庚と^辛と^壬と^癸と
か^甲と^乙と^丙と^丁と^戊と^己と^庚と^辛と^壬と^癸と



塔と成て開寺息子ありし
す石及りし御憐れ心事を
らきん具せたりよも言て題
を下すへしとら宣るし御勢
唯今開寺息小町り言へし
うきん ヒテセ 我れ誰より
まつらも志ら宮原原乃て

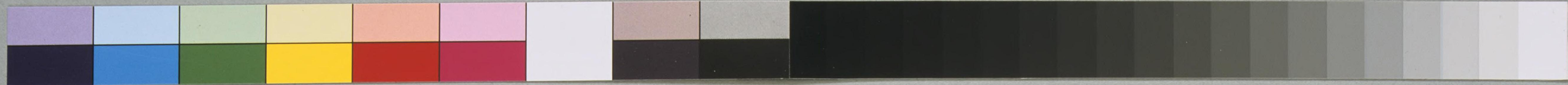
づ所まゝ カキ 大らちまゝ カキ ありん
昔ハ芙蓉乃花たるし サシ ありん
づ サシ 藜藜の葉とある顔も
え サシ 虫悴と サシ ねと サシ ち サシ だ サシ へ サシ とも
さ サシ り サシ の サシ も サシ 枝 サシ つ サシ くる サシ せ
か サシ も サシ な サシ し サシ ん サシ を サシ 恨 サシ ん サシ を サシ か サシ け サシ ち
あ サシ じ サシ つ サシ 嗚 サシ あ サシ つ サシ ち サシ ち サシ ね サシ 物 サシ 根 サシ と



下らきたるもあはれ有難や作
若眼とド文字もらるるに
カハらるわを何うにせし
何うにせし入^{ハナ}りもた^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り

あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り
あはれ^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り^{ハナ}り





つねてはま心なむも
 有るは一字の也平と即ゆ是
 も根氣の故やんやうと云
 文字はる也平あり引と云
 字と、叔、ら、帝、の、は
 へ、を、泳、冷、せ、ら、せ、給、ふ、一、
 引上書、ふ、一、も、ら、一、あ、ま、の、書、の、

が、ま、も、り、ち、よ、ま、ま、の、音、
 面、白、き、き、き、り、れ、お、ま、れ、
 湖、乃、志、領、の、ら、ま、乃、ま、ら、松、
 牙、の、だ、ら、い、あ、系、物、と、東、子、向、
 有、義、や、一、山、乃、觀、世、音、誓、
 乃、長、ま、一、相、ん、あ、づ、ま、れ、ま、
 命、乃、の、家、た、り、あ、る、一、



横を早あり帝の御座を
まゝしてはしめし御座れ
つゝある和玉の道あり
もゆるしはれしをたらし
もして高位よまゝしるも
唯和玉のさくともや
哥乃横を尋ぬるも長歌短歌

旋頭哥打句俳諧混本
むんしは文あり
つくあまの
子やとつ乃身はる具名を
はといへるの云言を
じあつらをり物あり
久しけうと昔の母の



乃しよき乃を家もかた
とくあれも母もくし
あり行色 室也平乃き返語
まきいし入乃程思り
かふらふらきこしあ世
乃何れ乃平乃の具おほく有
中よづ返の小町、妙ある萃

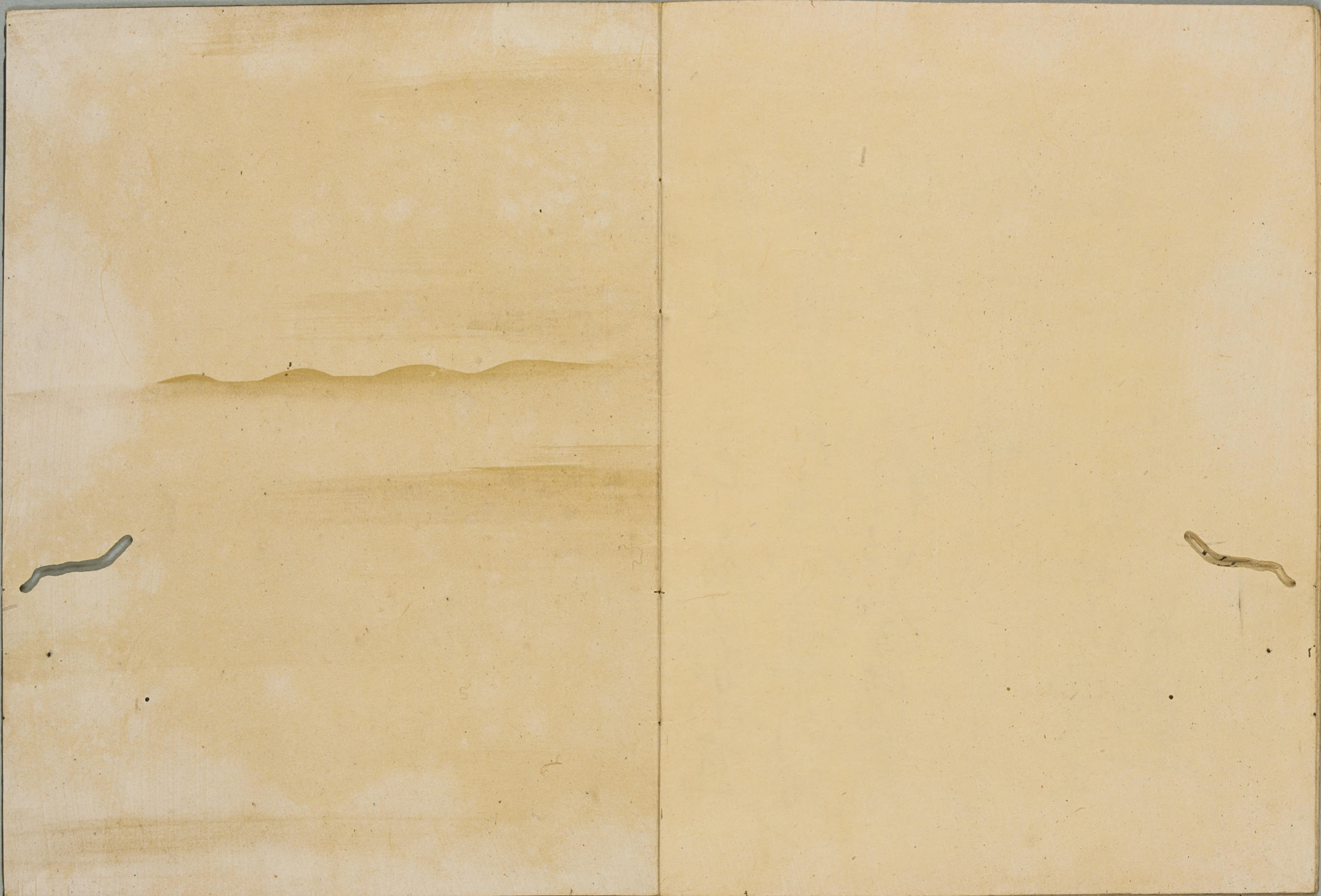
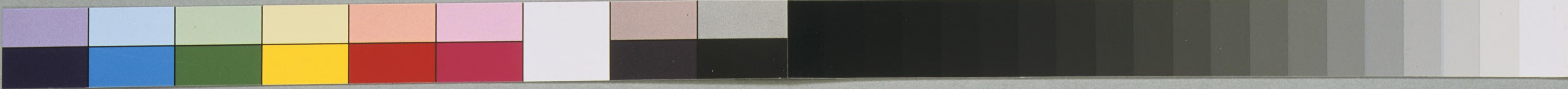
乃色このこ家乃き返り
かよそ唯よかくとも
しよ家く乃き結もも
直給り ^{上レテ} 和平乃六義を尋
きよも小町りきもく
しよもかたやまのこ
秘あり 養くあし
世



引く響く乃そしやふ
此日も言ひくまよらるる
そとく行家都よりき
小町もといは是まそありと校
乃袖乃源立りし乃袖の源も
同寺の業の巻よ踏きわ

右百番田之女者家来直
傳石岡が左妻の音早句付
依波板起程い今侍書
加奥あり早

元和六年 親世在迄大文
卯月日 首深五



観世流謡曲 元和卯月本

12-014

12 あふむ小町

国立国会図書館





観世流謡曲 元和卯月本

12-015

12 あふむ小町

国立国会図書館

